

show controller fia コマンド出力の解釈の仕方

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[show controller fia コマンド](#)

[関連情報](#)

概要

この文書では、show controller fia コマンドの出力の解釈の仕方について説明します。

前提条件

要件

この文書を読むには、次の知識が必要です。

- Cisco 12000 シリーズ インターネット ルータの分散アーキテクチャ

このアーキテクチャの詳細は、「Cisco 12000 シリーズ インターネット ルータのアーキテクチャ」、特に「スイッチ ファブリック」に関する章を参照してください。

使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このマニュアルの情報は、特定のラボ環境に置かれたデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。実稼動中のネットワークで作業をしている場合、実際にコマンドを使用する前に、その潜在的な影響について理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

[show controller fia コマンド](#)

show controller fia コマンドは、Cisco 12000 シリーズ インターネット ルータの Fabric Interface Asic (FIA) コントローラに関する情報を表示するために使用します。FIA は、Gigabit Route Processor (GRP; ギガビット ルート プロセッサ) と Line Card (LC; ラインカード) の両方に存在し、GRP/LC とスイッチ ファブリック カード (CSC/SFC) 間のインターフェイスを提供します。

show controller fia コマンドは、Cisco 12000 シリーズのルータで発生するスイッチ ファブリックに関する問題のトラブルシューティングに非常に重要な役割を果たします。たとえば、Cisco 12000 シリーズ インターネット ルータにおけるファブリック Ping のタイムアウトおよび障害のトラブルシューティングに使用します。スイッチ ファブリックのトラブルシューティングに関するガイドラインについては、「スイッチ ファブリック (CSC および SFC) のトラブルシューティング」を参照してください。

show controller fia コマンドでは、From Fabric と To Fabric の FIA エラーが区別されています。From Fabric エラーは、スイッチ ファブリックからラインカードまたは GRP に向かうパケット用であり、To Fabric エラーは、ラインカードまたは GRP からスイッチ ファブリック経由で別のカードに向かうパケット用です。

次に、show controller fia コマンドの出力例を示します。

```

Line 1  12016#show controller fia
Line 2  Fabric configuration: Full bandwidth redundant
Line 3  Master Scheduler: Slot 17
Line 4
Line 5  From Fabric FIA Errors
Line 6  -----
Line 7  redund fifo parity 0          redund overflow 0          cell drops 0
Line 8  crc32 lkup parity 0          cell parity 0          crc32 0
Line 9  Switch cards present: 0x001F Slots 16 17 18 19 20
Line 10 Switch cards monitored: 0x001F Slots 16 17 18 19 20
Line 11 Slot: 16 17 18 19 20
Line 12 Name: csc0 csc1 sfc0 sfc1 sfc2
Line 13 -----
Line 13 los 0 0 0 0 0
Line 14 state Off Off Off Off Off
Line 15 crc16 0 0 0 0 0
Line 16
Line 17 To Fabric FIA Errors
Line 18 -----
Line 19 sca not pres 0 req error 0 uni FIFO overflow 0
Line 20 grant parity 0 multi req 0 uni FIFO undrflow 0
Line 21 cntrl parity 0 uni req 0 crc32 lkup parity 0
Line 22 multi FIFO 0 empty dst req 0 handshake error 0
Line 23 cell parity 0

```

- Line 2 は、ボックスがフルまたは 4 分の 1 のどちらの帯域幅モードであるか、および現在冗長であるかどうかを示します。
- Line 3 は、どの Clock and Scheduler Card (CSC; クロック スケジューラ カード) が現在マスターであるかを示します。17 はデフォルトのマスターです。
- Lines 7 ~ 15 は、From Fabric FIA のさまざまなエラー カウンタを示します。一部のエラー カウンタの説明は、「スイッチ ファブリック (CSC および SFC) のトラブルシューティング」に記載されています。
- Lines 9 と 10 は、現在存在し (電源が投入されている) 監視されている (使用中である) ファブリック カードを示す逆ビット マスクです。ビットは、次のように分類されます。

```

7 6 5 4 3 2 1 0
unused unused unused SFC2 SFC1 SFC0 CSC1 CSC0

```

この場合、0x1F は 00011111 で、すべてのカードが存在することを示します。0x1D は 00011101 で、CSC1 のビットがオフになっていることを示します。

- Line 11 は、次のスロットのヘッダ一行です。0= スロット 16=CSC01= スロット 17=CSC12= スロット 18=SFC03= スロット 19=SFC14= スロット 20=SFC2
- Line 13 は、ファブリックカードでクロックの同期を喪失した回数を示します。
- Line 14 は、同期ステータスを示します。「オン」とは、現在同期が取れていないことを意味します。「Off」は同期していることを示します。
- Line 15 は、このファブリックカードと通信しているときに発生した、ファブリックの Cyclic Redundancy Check (CRC; 巡回冗長検査) エラーの回数を示します。この値が高い場合は、通常、ハードウェアが正しく装着されていないことを示します。エラー回数が増加するかどうかを調べるのが重要です。増加する場合は、すべてのファブリックカードで増加するのか、1つのファブリックカードでのみ増加するのかを調べる必要があります。
- Lines 19 ~ 23 は、To Fabric FIA のさまざまなエラーカウンタを示します。一部のエラーカウンタの説明は、「スイッチファブリック (CSC および SFC) のトラブルシューティング」に記載されています。

12410 のファブリックの物理構成は多少異なるので、出力も若干異なります。

```
Line 1 12410#show controller fia
Line 2 Fabric configuration: Full bandwidth, redundant fabric
Line 3 Master Scheduler: Slot 17 Backup Scheduler: Slot 16
Line 4
Line 5 From Fabric FIA Errors
Line 6 -----
Line 7 redund fifo parity 0   redund overflow 0   cell drops 0
Line 8 crc32 lkup parity 0   cell parity 0       crc32 0
Line 9 Switch cards present 0x007C Slots 18 19 20 21 22
Line 10 Switch cards monitored 0x007C Slots 18 19 20 21 22
Line 11 Slot:   18       19       20       21       22
Line 12 Name:  sfc0     sfc1     sfc2     sfc3     sfc4
Line 13 -----
Line 13 los    0         0         0         0         0
Line 14 state Off      Off      Off      Off      Off
Line 15 crc16 0         0         0         0         0
Line 16
Line 17 To Fabric FIA Errors
Line 18 -----
Line 19 sca not pres 0   req error 0       uni fifo overflow 0
Line 20 grant parity 0   multi req 0       uni fifo undrflow 0
Line 21 cntrl parity 0   uni req 0         crc32 lkup parity 0
Line 22 multi fifo 0     empty dst req 0   handshake error 0
Line 23 cell parity 0
```

関連情報

- [Cisco 12000 シリーズ インターネット ルータにおけるファブリック ping のタイムアウトおよび障害のトラブルシューティング](#)
- [スイッチファブリック \(CSC および SFC \) のトラブルシューティング](#)
- [ルータのテクニカル サポート](#)
- [Cisco IOS ソフトウェアのテクニカル サポート](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)